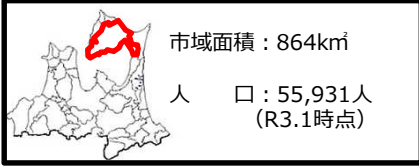


青森県むつ市

テーマ:オープンスペースとコミュニケーションが紡ぐ多様なまちづくり

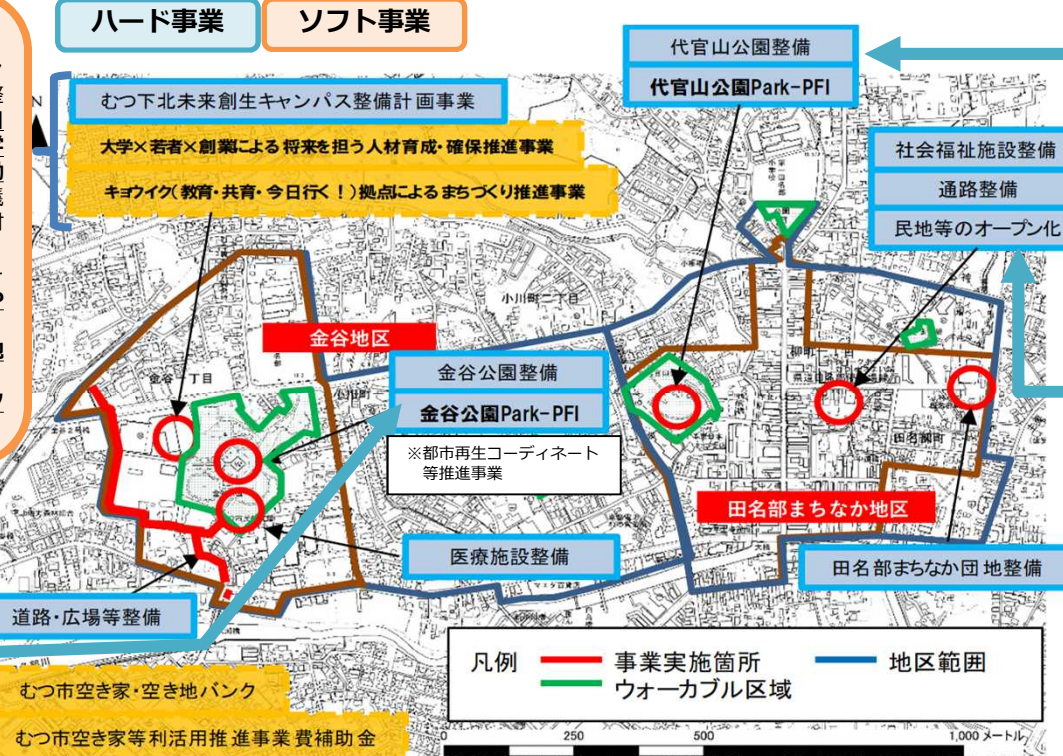


【立地適正化計画】
平成29年2月公表（居住誘導区域）
【都市再生整備計画（滞在快適性向上区域）】
令和3年3月公表

○ 2つの拠点地域において、Park-PFI制度を活用した「新たな日常」に対応したオープンスペースの充実を中心に、都市再生推進法人による社会福祉施設の整備、イノベーション等の新たな拠点となる大学キャンパス・コワーキングスペース等における大学や地元企業、地域住民との連携による人材育成の推進等、多様な官民連携の取組により稼ぐ力の向上及びゆとりと賑わいのある新たな日常のまちを創出する。

○むつ下北未来創生キャンパス関連事業
学び、交流、大学連携、イノベーションの拠点となる「むつ下北未来創生キャンパス」として地域初の4年制大学の整備、コワーキングスペース等の新たな日常に対応できる環境の整備にあわせ、学校法人や地元企業を中心に産学官金協働で設立された「むつ下北未来創造協議会」と大学・大学生との連携による人材の好循環を推進。具体的には、
・地元企業や住民によるプラットフォームを中心とした、インターンシップやセミナー等の開催
・全年代を対象とした学び直しによる地域内雇用の機会充実、人材育成
・学生と地域をつなぐ交通ネットワークの形成

○金谷公園Park-PFI
公園の近隣に総合病院があり、非常時にオープンスペースとして公園を利用できるように再整備を実施。



○代官山公園整備
Park-PFIにより、コロナ禍において需要が高まっているグランピングなどのアウトドアを気軽に体験できる公園づくりを実施。



○社会福祉施設等の整備
老朽化したバスターミナルを除却し、コミュニティ機能や福祉機能との複合施設を整備し、施設の一部にてオープンスペースの場を形成。



目標設定

居住誘導区域内の人口密度
居住誘導区域内の人口密度を3年後も引き続き維持
(従前値) 24.1人/ha (令和2年12月)
→ (目標値) 24.1人/ha (令和5年度末)

平日の商店街歩行者通行量
人口減少に伴う空き店舗の増加により商店街歩行者通行量を増加基調に
(従前値) 404人/日 (令和2年7月)
→ (目標値) 600人/日 (令和6年7月)

人口1人当たりの市民所得
空き店舗増加に伴う市民所得の減少を5年後には増加基調に
(従前値) 2,265千円 (令和元年)
→ (目標値) 2,425千円 (令和5年)